

7.1三里塚 いも掘り大会

家族とともども 80名が参加し大成功！

小雨まじりの七月一日、組合員・家族
八〇名が参加し、バス一台貸切、現地
へ向い、三里塚現地において反対同盟と
の温かい交流の中でジャガイモ掘り大会
が大成功をかちとった。

反対同盟と和気合々の 生きた交流

バスは天神峯に到着し、待ちかまえて
いた石橋副委員長の案内で畑に行き、約
一時間ばかりでジャガイモ掘り。大喜びで
泥んこになるのもいとわず子供たちが
先を争って奮戦。広い畑のあちこちにた
ちまちま立派な「ジャガイモ」の小山がで
きる。それを袋につめる。約一トンだ！
そのころになると雨もすっきりあがり
文字通り太陽と緑の三里塚大地となつた。

反対同盟から出されたみそ汁と野菜を
食べながら昼食をとり、交流会が行われ
た。

交流会では、奥川委員長のうちとけた
挨拶があり、反対同盟からは石橋副委員
長はじめ、郡司さん・市東さん・島村さ
ん・加藤さん・石毛さん・島さんなど十
人もの方々が参加し、それぞれ挨拶をう
けた。

ユーモアをまじえた挨拶・歌などがと
び出し和気合々のうちに、約一時間半は
過ぎていった。



子ビツ子軍団が大奮闘！（石橋さん方の畑にて）



昼食をかねて
交流会

中野書記長
石橋副委員長
奥川委員長

叩いの現地を視て、同盟の 強靱さを学ば

参加者はバスに乗り込み、二期工事の
焦点となる木の根を訪ね、熱田副行動隊
長より「木の根かんがい工事の説明をう
けた。

これはオーに、農民の生命ともいえる
用水を農民自身の力で獲得し、
オ二に、二期工事横風滑走路のド真中
につくることによって二期工事阻止の固
い決意を示すというものであり、今月初
旬には基礎工事を完了させ、本格工事に
移行し、揚水井戸・揚水風車・用水路網
・用水池およびその関連工事という大規
模なものであり、公団・県警は完全にう
ちのめされている。

はじめの現地案内を皆熱心に聴きな
から三里塚農民の真の強さ、家族ぐるみ
の叩いのすばらしさを眼のあたりに見る
ことができたのである。

約三〇名の子供たちを含む八〇名の
参加者は、最後にスイカ・トウモロコシ
それにジャガイモを持ち切れないぐらい
の新鮮な野菜をどっさりとかかえ、バス
と自家用車に分乗して帰路についた。
帰りのバスの中でも各々各支部からの
参加者から、よかった、今後もみんな
このような企画をやってほしい、反対同
盟の人たちの熱意と親切を感謝し、家族
ぐるみの交流をどんどん広げていきたい
という気持ち満ちあふれ、和気合々のう
ちにも勤労千葉の体制をあらゆる方面か
ら強化すること、そのために家族も手を
とり合って叩いていくことを誓いあった。